

土村第三発電所の営業運転再開について

2026年3月24日

東京電力リニューアブルパワー株式会社

当社土村第三発電所（長野県南佐久郡）は、2021年12月よりリブレース工事を実施しておりましたが、工事が完了し、本日営業運転を再開いたしました。

土村第三発電所は、長野県、山梨県、埼玉県の3県境にそびえる甲武信ヶ岳（標高2,475m）を源流とし、日本一の長さを誇る千曲川（信濃川）の上流域にて水を取り込み、地形の落差を活かして発電を行う水力発電所です。1921年に運転を開始、105年にわたり地元で親しまれています。

2019年10月の台風19号により当発電所の設備が浸水し、長期間にわたり発電を停止しておりましたが、このたびリブレース工事が完了し、水車および発電機の更新を実施いたしました。水車形式については効率性が最も優位となる水車を採用しました。その結果、最大出力は1,050kWから1,200kWへと向上しております。

当社がリブレース工事を実施した発電所は、土村第三発電所で29箇所となります。

当社は、今後も引き続き、地域のみなさまをはじめとする関係者さまのご理解・ご協力をいただきながら、安全最優先で発電所を運転するとともに、再生可能エネルギーの普及・拡大に貢献してまいります。

【発電所概要】

所在	長野県南佐久郡
運転開始	1921年5月
最大出力 (kW)	1,200

以上



発電機（工事前）



水車・発電機（工事後）



発電所全景（工事前）



発電所全景（工事後）